

# やさいレポート (令和8年7月号)



# にんじん



発行日：令和8年7月7日

## 1. 卸売価格の動向

○164 円/kg (7月4日)

➢ 平年比：106%

○7月の価格見通し

平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

## 2. 小売価格の動向

○416 円/kg

(6月12日全国平均)

➢ 前月比：92%、平年比：102%

➢ 東京：211 円 (3本)

➢ 大阪：191 円 (3本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：6/20 (前月 5/20)

➢ 大阪：2/10 (前月 4/10)  
(機構調べ)

## 3. 家計消費動向

○222g/人 (5月全国平均)

➢ 前月比：105%

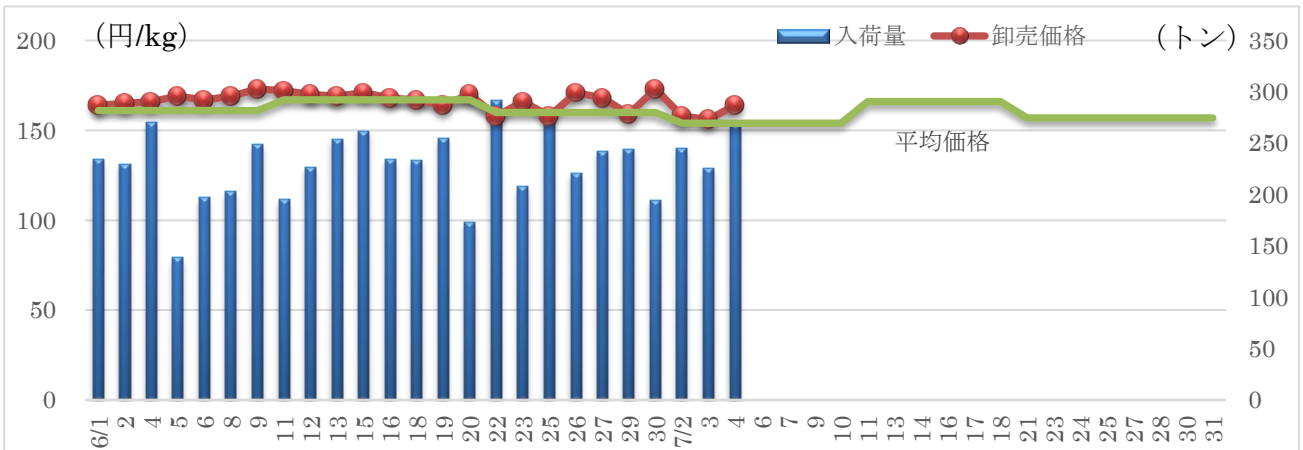
➢ 前年同月比：98%

○2,497g/人 (2025年年間)

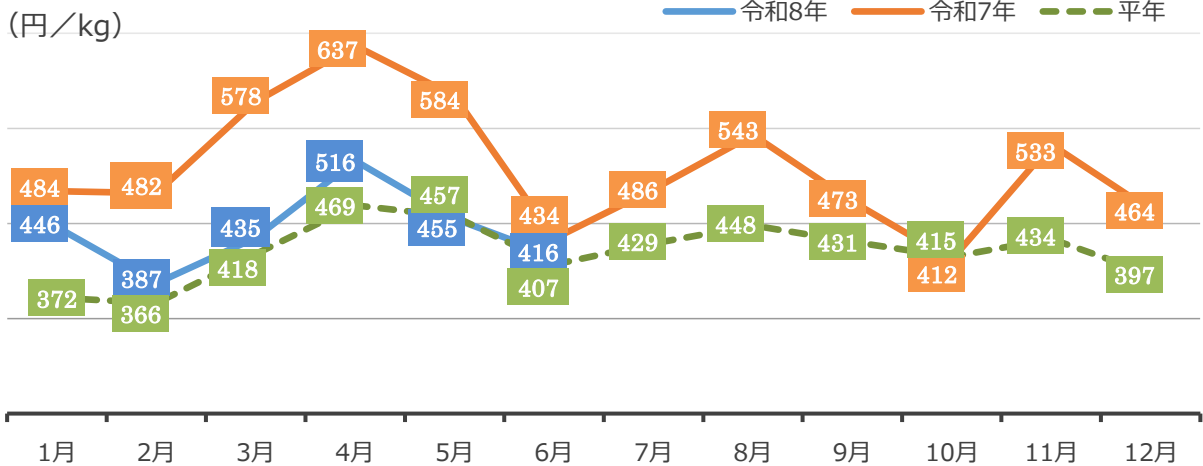
➢ 前年比：98%

(総務省統計局家計調査)

## 4. にんじんの入荷量と価格の推移 (東京都中央卸売市場)



## 5. にんじんの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野 (6/11)	前年並み	平年並み	平年並み	—
青森県三沢 (4/23)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (4/21)	前年並み	平年並み	平年並み	早い

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



北海道富良野市：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (7/4~7/31)

週別の天候				
7/4~7/10	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
7/11~7/17	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
7/18~7/31	北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

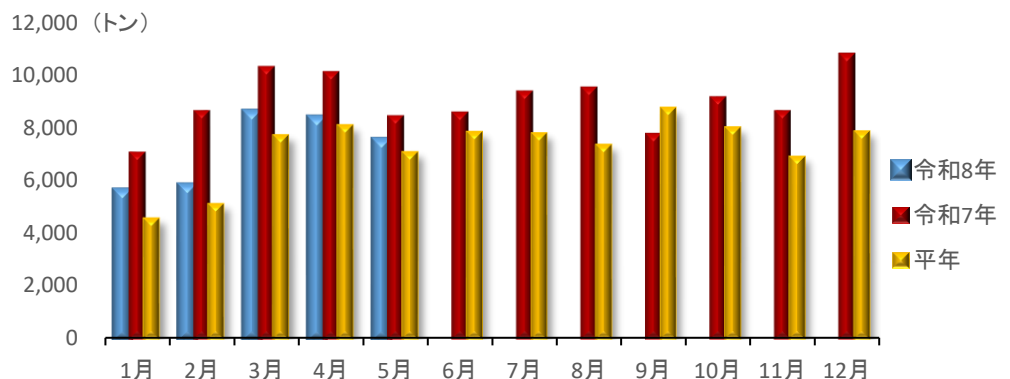
○7,495 トン (5月輸入量)

➢ 前年同月比：89%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 7,175 トン
- 2位 豪州 274 トン
- 3位 台湾 23 トン

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

6月は、千葉産主体の入荷となった。月後半より北日本産も入荷された。主産地の生育はおおむね順調で安定した入荷となり、価格は平年並みとなった。

7月は、千葉産から青森・北海道産に移行される。両産地とも生育順調で、出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課